

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市川名1丁目計画 新築工事	階数	地上14F
建設地	藤沢市川名一丁目63番1 他	構造	RC造
用途地域	準防火地域,第一種住居地域	平均居住人員	497 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年3月6日
敷地面積	5,516 m ²	作成者	株式会社長谷エコーホレーション
建築面積	1,367 m ²	確認日	2017年3月6日
延床面積	12,108 m ²	確認者	株式会社長谷エコーホレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 ・白・黒・ベージュを基調とした色彩計画とし周辺との調和を目指すとともに、敷地境界沿いに植栽帯を設けることで周囲に潤いを提供できる計画とした。	その他 0	
Q1 室内環境 ・快適な住環境の確保をめざし、サッシは複層ガラスを採用した。	Q2 サービス性能 ・劣化対策等級3を取得予定。	Q3 室外環境(敷地内) ・自治体の景観計画区域基準に基づき色彩配置としている。
LR1 エネルギー ・エコジョーズの採用により、エネルギーの有効利用を図った。 ・住戸の2面以上に窓を設け、有効な通風と採光が確保されている。	LR2 資源・マテリアル ・内装の更新性に配慮し、二重床・二重壁を採用している。	LR3 敷地外環境 ・駐車場を住戸数の70%、駐輪場を200%確保し、敷地外への駐輪や自動車利用の抑制に対して配慮した。 ・多種分別可能なゴミ置場及びディスプレイを設けることで、敷地外への環境に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される